

## (公社) 青森県診療放射線技師会理事会等議事録

委員会等名： 令和7年度第5回理事会	
開催通知：令和 8年 1月 20日 (火)	
開催日時：令和 8年 1月 30日 (金) 19:00 ~ 20:30	
場 所：Zoom ミーティング	
議 長：佐藤兼也	議長が指名した議事録作成人：澤橋政美
(出席者) 理事：15人(定数15) 監事：2名(定数2) 常務理事：佐藤兼也、小澤友昭、成田将崇、森脇公洋、石倉牧人、横山幸夫、大湯和彦 理 事：岩瀧昌善、澤橋政美、竹山修嗣、三浦隆司、内田幸範、米田竜二、高橋康幸、 伊丸岡俊治 監 事：稲葉孝典、福士正広	
会議を始めるにあたり参加者全員の通信確認を行ったのち、令和7年度第4回議事録を確認した。 なお、三浦理事は【議案2】、伊丸岡理事は【その他】より参加した。	
(議事要旨)	
【議案1】 終身会員の申請 (森脇常務理事) 会費納入規程第7条第2項により、青森市民病院 川村智会員から終身会員の申請が提出された。申込金に相当する5年分の年会費相当額は1月9日に納入済みとの報告があった。会費納入規程第7条第4項により終身会員の承認がされた。	
【議案2】 入会の申請 (森脇常務理事) 除籍された方の再入会1名について承認された。	
【検討1】 第10回告示研修 (佐藤会長・石倉常務理事) 令和8年2月15日、青森県立中央病院で開催予定である。 増枠の要望に応じ32名から40名に増員した。 物品・ファントムは2月9日に青森県立中央病院に到着予定であり、終了後の物品回収は伊丸岡理事に宅配便手配等確認する。 前日の準備は16時からとなる。 告示研修の注意点をホームページに掲載する。 施設の出張で来られる方はラインワークスより横山常務理事に報告する。	
【検討2】 リクエストセミナー (佐藤会長・成田副会長) 会員よりリクエストのあったマネジメント及び胃検診の2点について検討した。 診療放射線技師のマネジメントに関する講習会の開催について企画及びスケジュール案が提示された。 企画案 施設のマネジメント層を対象に、悩み事の相談や業務課題など情報共有の場とする。 事前に議題を募集し、当日議題毎にディスカッションする。 スケジュール案 2月初旬 Googleformにて議題募集開始 議題3個程度(3週間程度募集) 3月初旬～中旬 マネジメント研修会 (WEB) ZOOMで班分けができるか検討する。 胃検診について リクエストして下さった会員に内容等、三浦理事が確認する。	
【検討3】 令和8年度年間行事 (森脇常務理事) 学術大会と賛助会員発表は青森県立中央病院にて、各イベントは6月13、14日二日間日程開催とし、その期間に名刺交換会・定時総会・ワクチン接種研修を組み込む予定である。 リクエストセミナー・生活習慣病検診従事者指導講習会は11月開催予定である。 6月13日のJART総会日程について、県学術大会と重なるので佐藤会長が確認する。	

4月の期末監査と第1回理事会（対面）は連日開催を検討している。  
青森県MRI研究会は世話人会で1月より前に出来ないか検討中である。  
7月12日の弘前市第39回市民の健康祭りについて、前日に理事会を行うか再検討とする。  
定時総会資料にリクエストセミナーも可能であれば掲載する。  
最終的には3月の理事会に決定する。

**【報告1】日本診療放射線技師会正副会長と当会会長との懇談（佐藤会長）**

令和8年1月16日、Web開催された。  
佐藤会長・大湯常務理事・石倉常務理事、青森県立中央病院から2名、弘前大学医学部附属病院から1名が参加した。  
JART・JSRT等の複数加入による会費負担が大きいの声があった。  
県によっては会員数が少なく、支部・技師会の維持が困難になりつつある状況が共有された。  
今後、県技師会をどのように運営していくのか喫緊の課題であり、メリットを感じるようにしていかなければならない。  
情報発信方法の工夫（ホームページ、LINE等のプッシュ型）が重要との意見があがった。  
参加された方にはJART及び当会から会議費・雑費として支払いをした。  
会費負担について病院から補助しているか各理事施設の現状を確認した。

**【報告2】第15回TCRT監査（小澤副会長）**

令和8年1月12日、盛岡で行われ、指摘事項なく監査は終了した。  
収支決算書、監査報告書が提示された。  
今後はJART・JSRTに報告して終了となる。

**【報告3】令和7年度青森県法人立入検査（佐藤会長、森脇常務理事）**

令和8年1月21日、当会事務所で行われた。  
今回より、事前提出したチェックシートを基に対面ヒアリング中心の方法に変更された。  
求めに応じて書類等を提示する形で対応し、是正事項なしとして終了した。  
前回の指摘（予算執行・支出にあたり会長了解の記録を残すこと）に対し、予算執行依頼（形式的なものを含む）を文書化し、会長了承を得たうえで支出する運用に変更した。今回の検査でも当該点が確認され、概ね問題なしとの反応であった。  
公2の事業について、個別事業の再編の手続きを伺った。許認可ではなく変更届の範囲でないかとの見解が示された。何らかの届けは必要である。届けは出せるタイミングでいいが、事業開始までに届けがあれば無難との回答であった。  
入会金の取扱いについて、会費は公益・法人で50:50としているが、入会金は入会・退会の事務経費とみなし、法人会計に全額充当できないか伺った。何らかの規程に規定すれば可能かなどを質問した。  
伺った2点については所管課に照会して後日の回答となった。  
叙勲について、県への貢献度で左右されるものではなく、当会からI類の候補者を推薦していることは重々承知している。今年度から始まった医療功労表彰について、これまで知事表彰受賞者からの推薦の流れから推薦基準の目安を聞いたが、推薦をする団体の任意でよいとのことだった。  
令和8年度から総会資料の電子的配付をするにあたり、スケジュール・手続きの確認をした。妥当と思われるが、所管課に照会をして後日回答となった。

**【報告4】選挙管理委員会（成田副会長・森脇常務理事）**

令和7年12月25日、Web会議された。  
選挙管理委員長退任に伴い、田口実行会員（八戸市立市民病院）が新委員長に選任された。  
後任の委員1名を青森地区より選出する。

**【報告5】第158回青森県MRI研究会（佐藤会長・大湯常務理事）**

令和8年1月24日、弘前大学医学部附属病院でハイブリッド開催された。参加者は73名。  
天候不良にて現地からWeb参加に変更した方もいた。  
収支報告書・会計報告書が提示された。

今回のように1月開催は雪の影響もあり、日程変更を検討している。

**【報告7】総務関係（森協常務理事）**

・会員の動向

入会1名（再入会・除籍者）、退会1名、終身会員申請1名であった。

・叙勲・医療功労賞の推薦基準

叙勲候補者について、I類での叙勲は候補者が70歳以上とされているが、稲葉監事の調査によると実際に叙勲を受けている方は80歳以下が占めているので、常務理事会で80歳を超えた方はその年度からII類での推薦に切り替えることを内規で定めてはどうかと提案があった。

令和7年度からあった医療功労表彰は、医療功労表彰の基準については今年度の検討で、成案を得ている。検査技師会はその都度、役員間で選考しているという実情をえた。県所管課は要綱に沿っていれば候補選考は推薦団体の委ねるとのことだった。常務理事会で60歳以上の元会員も対象に加える案があがった。

各推薦基準の内規一覧が提示された。

・総会開催の手順の確認

県立入検査時に県担当者に、電磁的に総会資料を配布することとなった令和8年度定時総会の開催手続きの確認をしていただいた。特に問題ないと思われるが、担当課に照会し、後日回答をいただく。

・正会員死亡時のフローチャート

フローチャート案が提示された。

会が死亡情報を把握できないケースがあるため、災害時連絡の仕組み等と合わせて、会員から情報提供を得られる導線（HP掲示等）を検討する。

死亡情報把握について他県の情報を確認してみる。

**【その他】**

・次回理事会は3月に青森市民病院で対面開催を予定している。

・事務員について定年まで1～2年であるので、出来れば青森地区で後任の検討が必要である。

以上

本書は議事録に相違ない。

令和 8年 2月3日  
青森市安方二丁目17番15-802号  
ライオンズマンション新町通  
公益社団法人 青森県診療放射線技師会

会長 佐藤 兼也

監事 稲葉 孝典

監事 福土 正広